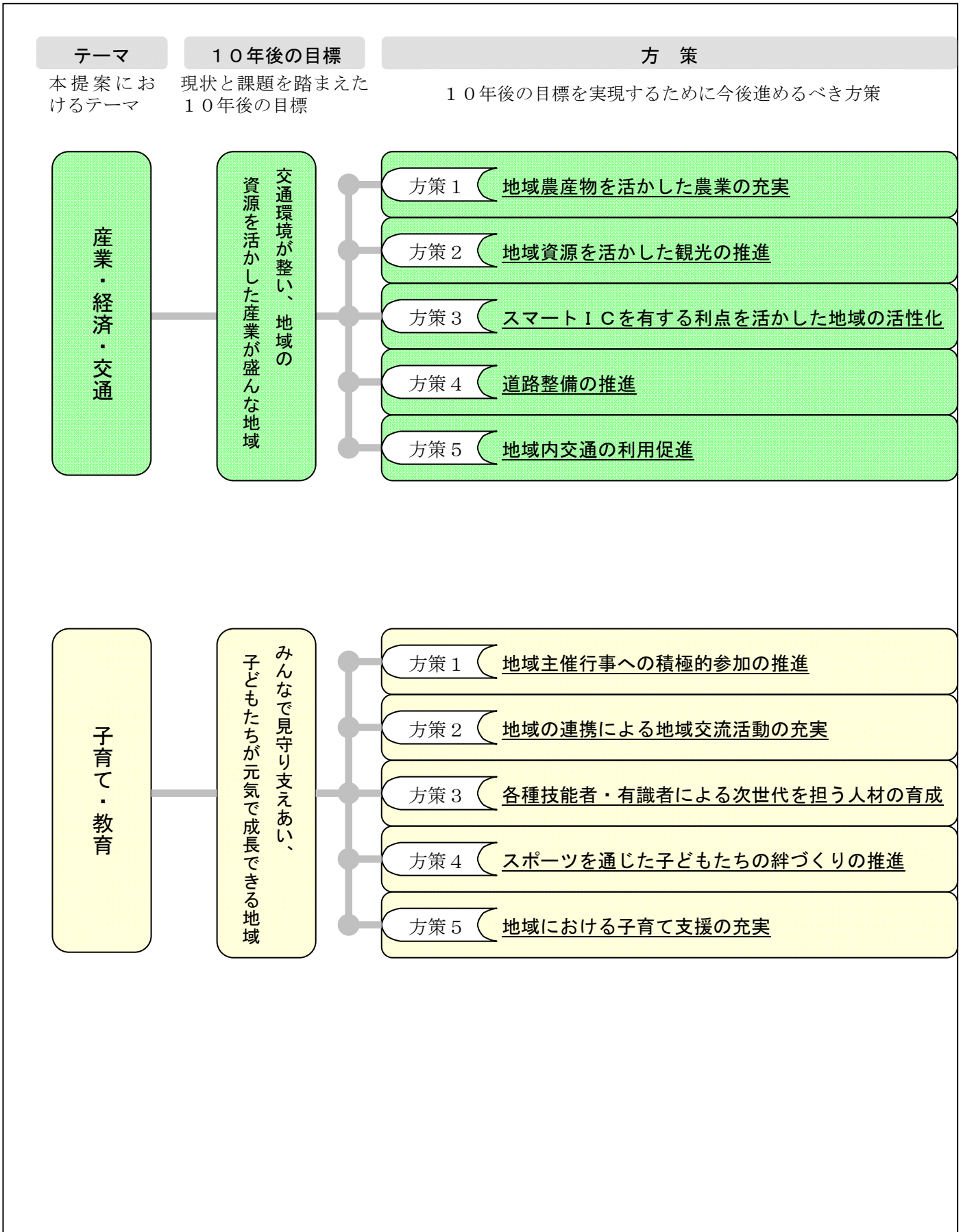


地域のまちづくりに関する施策の提案

産業・経済・交通 編



各テーマの体系



テーマ「産業・経済・交通」

1 現状と課題

(現状)

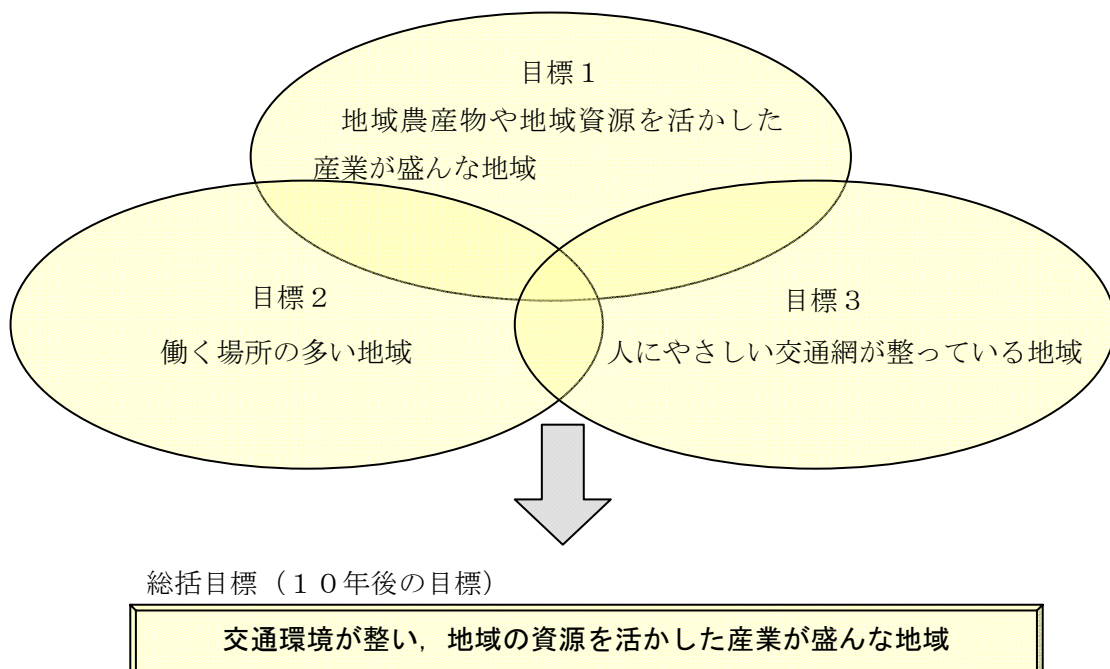
- ① 農業が盛んで、いちごやゆずなどの特産物がある。
- ② 羽黒山や西鬼怒川，梵天の湯など，名所旧跡がある。
- ③ 地域内に働く場所が少ない。
- ④ 生活道路の一部に，歩道未整備の区間や，一部未開通の区間がある。
- ⑤ 地域内に，循環路線バスやデマンドタクシーが運行されている。

(課題)

- ① 地域特産物を活用した商品開発を行い，差別化を図る必要がある。
- ② 地域資源を活かした交流事業により，観光をより推進する必要がある。
- ③ スマートＩＣの利便性を活用し，雇用の増加に結び付ける必要がある。
- ④ 歩道を含む道路整備を行い，地域内の交通安全をより確実にする必要がある。
- ⑤ 利用者の視点から地域内交通システムを検証し，利用促進を図る必要がある。

2 10年後の目標

地域の現状と課題を踏まえ，3つの目標を掲げたうえで，10年後の目標を「交通環境が整い，地域の資源を活かした産業が盛んな地域」に決めました。



3 方 策

10年後の目標を実現するために今後進めるべき5つの方策

交通環境が整い、地域の資源を活かした産業が盛んな地域

目標1 地域農産物や地域資源を活かした産業が盛んな地域

方策1 **地域農産物を活かした農業の充実**

地域の特産物が何であるかの共通認識を形成し、それを加工し販売するための異業種間の連携や6次産業化を促進し、地域の産業全体を振興する。

方策2 **地域資源を活かした観光の推進**

羽黒山のハイキングや地域交流館での入浴の他、観光農園や体験農園での交流事業の拡充により、上河内地域に親しみを感じてもらい、再度来訪する意欲を喚起する。

目標2 働く場所の多い地域

方策3 **スマートICを有する利点を活かした地域の活性化**

スマートICや国道293号、主要地方道藤原宇都宮線などの道路基幹軸の利便性を活かし、基幹産業である農業の6次産業化や温泉・祭・伝統芸能などと連携した地域経済の活性化による雇用の場の創出。

目標3 人にやさしい交通網が整っている地域

方策4 **道路整備の推進**

生活上の交通の安全を確保するための歩道の整備、地域内の交通を円滑にするための道路の拡幅、新設等を行う。

方策5 **地域内交通の利用促進**

市営バスとデマンドタクシーを併用しての地域内交通システムを、利用者の視点により検証し、より利便性の高い公共交通システムを構築する。